



開催日	令和6年10月5日(土)	行政区	冬木	参加人数	15名
時間	午前9時30分～10時40分	関係機関	五霞土地改良区、茨城むつみ農協五霞支店、農地中間管理機構、茨城県県西農林事務所企画調整課		
当日出た意見	・冬木地区は自作の方も多い。 ・貸し手／借り手の関係で、貸し手側も経費(改良区賦課金や固定資産税等の支払)と収入(小作料等)のバランスがとれず、今後年金収入のみの農家にとっては、かなり厳しくなってくる。賦課金分の金額くらいは小作料として欲しい。 ・担い手への支援もしなければ、遊休農地などが増える恐れがある。 ・早急に担い手に農地を集めなければ耕作放棄地になって、耕作しにくい土地になってしまう。 ・区域指定のエリアでは、太陽光やアパートの提案もきている。 ・担い手の圃場周辺の草管理が気になる。 ・相対で貸し借りしている農地も多い。 ・地域の農地を一体として、農地中間に集めることで、集積や集約が進むのではないかな？				
当日の様子	  				